



のいる風景

花木 かおり さん



【はなき かおり さん】

●鹿児島県指宿市池田出身
指宿市人事秘書課、市民協働課などに勤務の後、平成26年4月から1年間、派遣職員として千歳市観光スポーツ部観光振興課で勤務する。
小学生のときに、バレーボールで全国大会に出場した経験を持つ実力者。

何事も笑顔で挑戦！

千

歳市と鹿児島県指宿市の姉妹都市交流は、今年20周年を迎えます。千歳から約2千km南にある指宿市には、天然の砂むし温泉をはじめ豊富な温泉があり、多くの観光客が訪れています。

姉妹都市交流では、小学生の派遣や観光イベントなどを行っています。そのひとつ職員派遣交流は、今年6年ぶりに復活しました。4月から千歳市に着任した花木さんは、6代目です。

「指宿市の職員として10年目の今年。外から自分のまち（指宿）を見てみたいと思い、外部研修の希望を出しました。いざ、千歳市への派遣職員に選ばれてみると、故郷を離れて生活する不安、派遣職員として千歳市で何ができるのだろうという不安がありました。そんなとき、以前に千歳市へ派遣されていた先輩から『経験に変えられるものはない』というアドバイスを頂きました。その言

葉に勇気付けられ、千歳市で仕事ができる期待感がどんどん大きくなっていきまし」と着任前の心境を振り返ります。

「空港と自衛隊のまち」、着任前に花木さんが千歳に抱いていたイメージだったそうです。

そんな花木さんは、千歳市で観光の振興や道の駅のリニューアルに携わっています。最初の仕事は、4月に支笏湖で行った新温泉開湯式の準備でした。

「初めて見た支笏湖の透明度の高さ、そして、湖の背にそびえる薄く雪をまとった山々に心が洗われるような感覚でした。同時に、観光名所となる湖や温泉がある千歳は、指宿と似ているところがあると感じました」と肌で感じた千歳の印象を花木さんは語ります。

「最も希望していた観光の仕事に携わることができました。千歳市民の

方に負けないくらい、千歳を知り尽くして、千歳市の観光案内ができるようになりたいです」と意気込みを見せます。

日頃から「笑顔」をモットーにしているという花木さん。小学3年生のときからバレーボールを始め、監督から「苦しいときこそ笑顔でプレーしよう」と教えられました。

「そのときから苦しいときや、忙しいときこそ笑顔でいることを心がけています。今年は、自分にとって初めてのことがばかりだと思いますが、どれだけの『初めて』に出会えるのか、今からとても楽しみです」と笑顔。

最後に「もちろん、指宿の魅力もアピールして、たくさんの方に指宿に興味を持ってもらえたら嬉しいです。そして、千歳と指宿の架け橋のような存在になれたら」と目標を語ってくれた花木さん。今年1年の彼女の活躍に期待です。